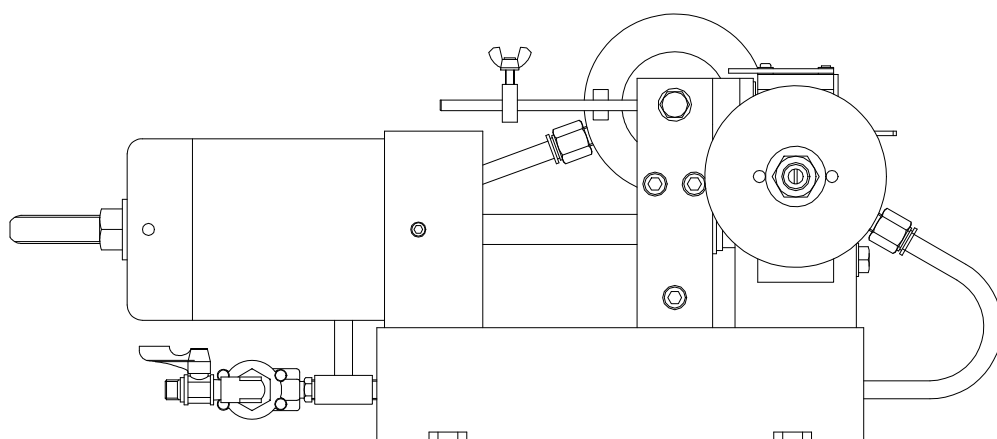
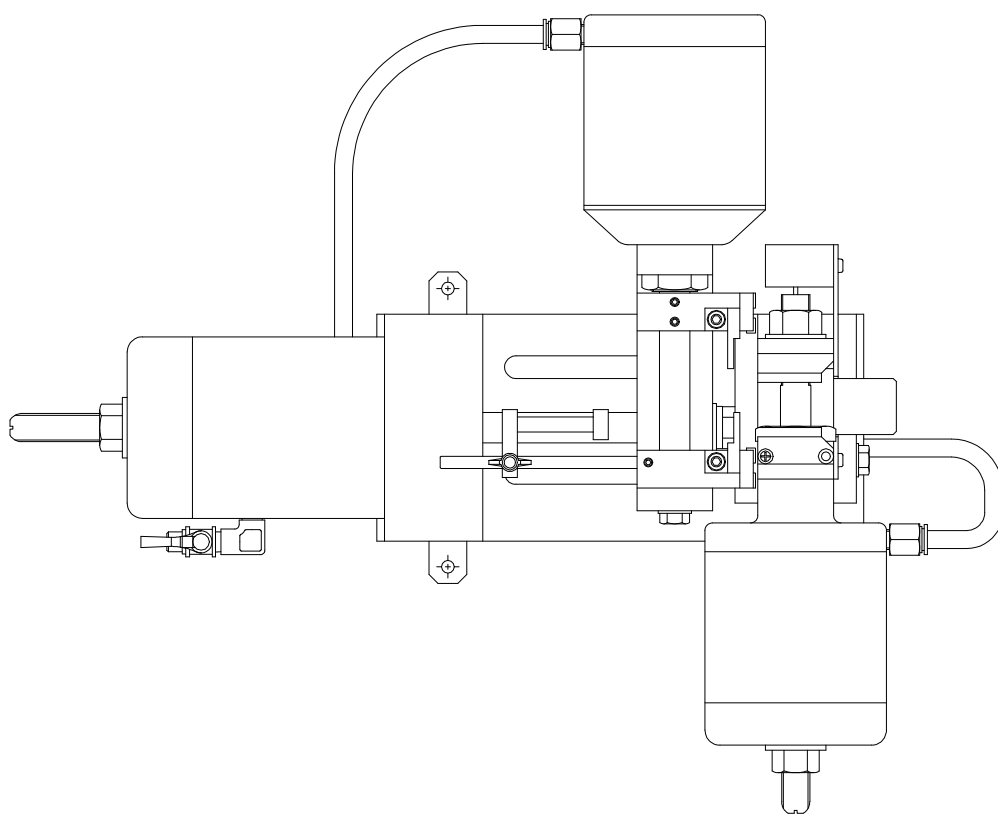




卓上ストリッパ

CST120

取扱説明書

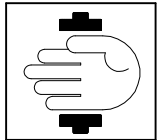


室本鉄工株式会社

ご使用に際して、この取扱説明を必ずお読み下さい。
また、必要な時取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

注意

安全かつ正しくお使いいただく為に、下記の事は遵守して下さい



- (1) 本機は、強力な切断力（圧縮力）を有していますので作業中にツカミ部・替刃台・刃物台・シリンダーの周囲に手指を近づけないで下さい。
- (2) 止むなく手を入れなければならない時は、安全のため必ずエアーストップしてから行って下さい。
- (3) 安全カバーを外しての、作業は行わないで下さい。
- (4) 替刃台の箇所でのカス取り、その他異物を取る場合はエアダスター等で取除いて下さい。取除き作業も（2）に準じて下さい。
- (5) 摺動面には、注油をして下さい。
- (6) 作業しない時は、必ずエアーストップしておいて下さい。
- (7) 能力以上（使用目的以外）での作業は行わないで下さい。
- (8) 常に各部の、ボルト類がゆるんでいないか、点検しておいて下さい。

■替刃の交換方法（替刃取付状態参照）

安全のため必ずエアーストップしてから行って下さい



- (1) 透明アクリルカバーを外して下さい。
- (2) 替刃台の止めネジの穴の中に入っている六角穴付ボルト（品番54）を六角レンチで左へ回し緩めて替刃を外して下さい。
- (3) 取付ける場合、替刃の刻印方向を間違えないで下さい。
- (4) エアーストップを通し、フットバルブを踏んで、替刃のかみ合わせ状態を確認して下さい。
- (5) 替刃及び線材変更を行った場合、ツカミ部固定側を調整して下さい。

お願い

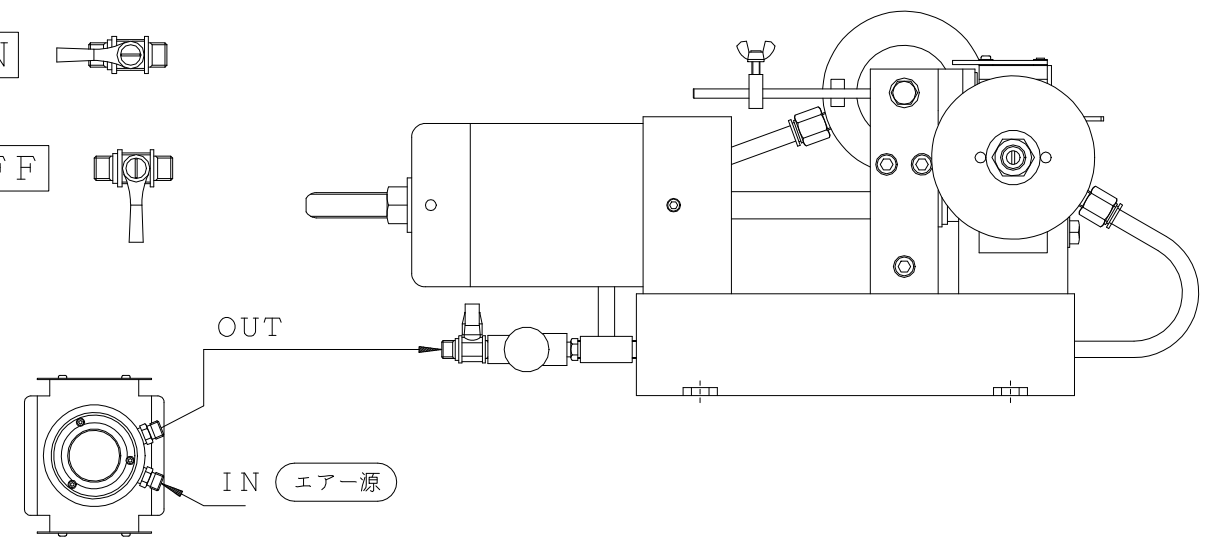
■御使用方法

- (1) 必ずフィルターを通した、水分を含んでいない、エアーストップを使用して下さい。
- (2) 十分なエアーストップを供給出来る様に、エアーストップ供給源のバルブは全開にして下さい。
- (3) 使用空気圧は0.5～0.6MPaで使用して下さい。
(指定空気圧以上での使用における故障の責任は負いません)

《注意事項》 ◎修理に関しては当社宛にご依頼下さい。
◎分解・改造による故障の責任は一切負いかねます。
(※仕様は予告なしに変更することがあります)

■フットバルブ（FB70S）使用の配管例

ストップバルブ

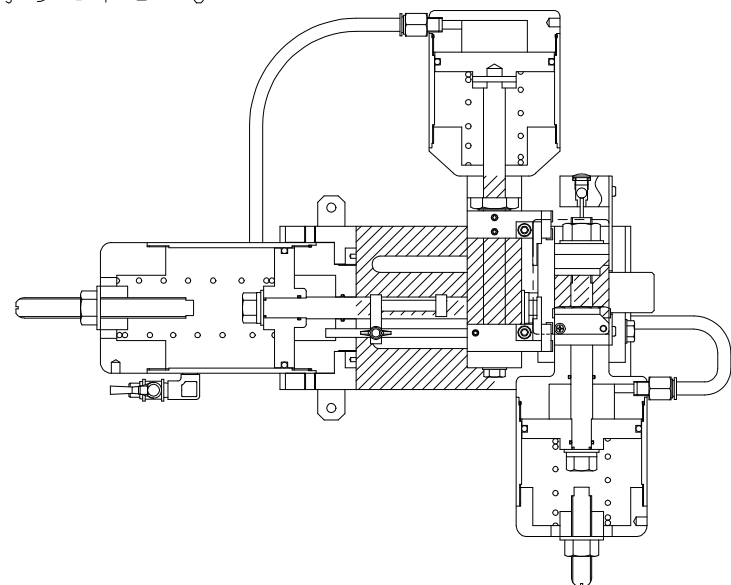


■フットバルブにエアーストップよりエアーストップを接続して下さい。
接続時には、ストップバルブを必ずOFFの状態にして下さい。

■替刃の動きと脱皮ストロークのタイミングがおかしくなった場合
品番46のチェック弁に内蔵されているウレタンボールが正常にセットされているか調べて下さい。

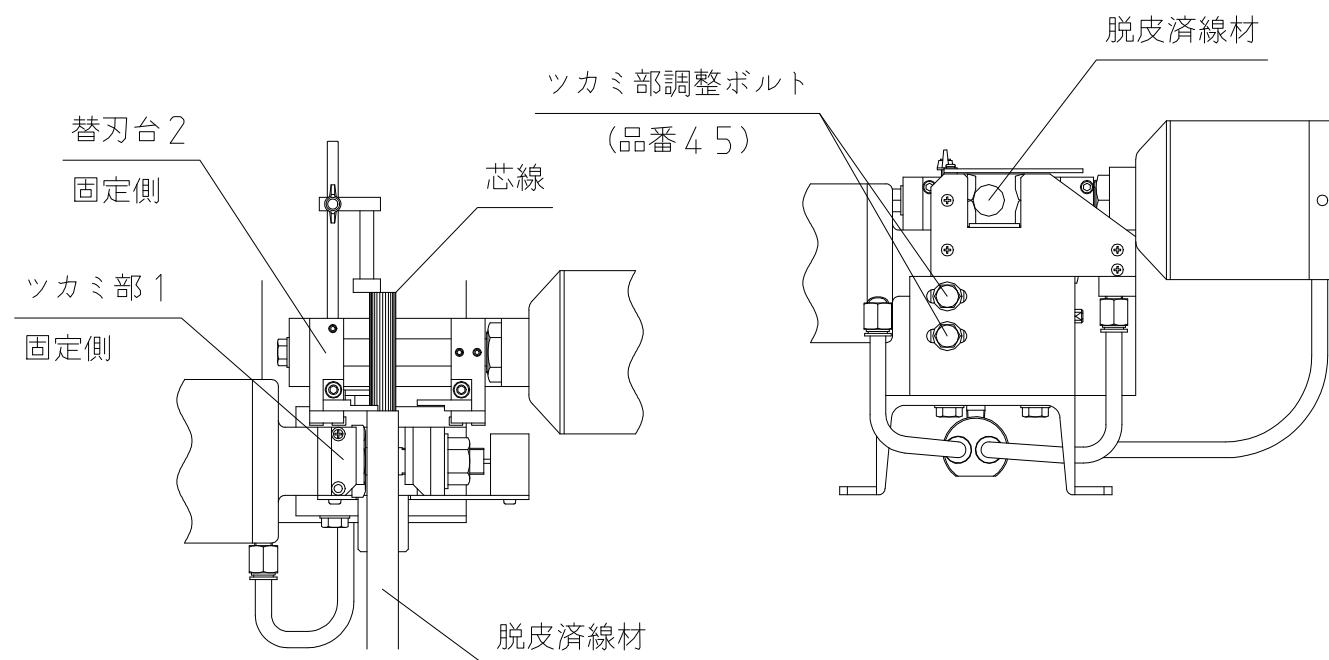
■注油について

■機械の作動を潤滑に保つために各部材の摺動部（斜線範囲）
最低月3回程度の注油を行って下さい。



■線材変更によるツカミ部 1 の調整方法

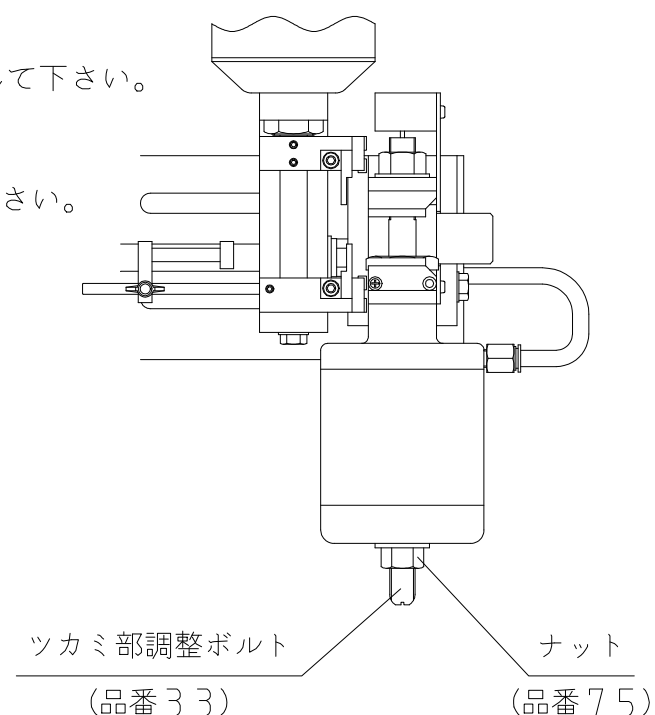
- (1) ツカミ部調整ボルト（品番 4 5）を緩めて下さい。
- (2) 脱皮する線材（脱皮済の線材）を用意して下さい。
- (3) 下図のように替刃の固定側に、線材の芯線をあてがった状態にしておき
ツカミ部 1 の固定側を、線材の外皮に軽くあて、ツカミ部調整ボルト（品番 4 5）を
しっかりと締め付けて下さい。
(線材が替刃に、きちんとセットされていない状態で使用すると替刃が破損する場合があります)



■線材とツカミ部 2（可動側）の開き調整方法

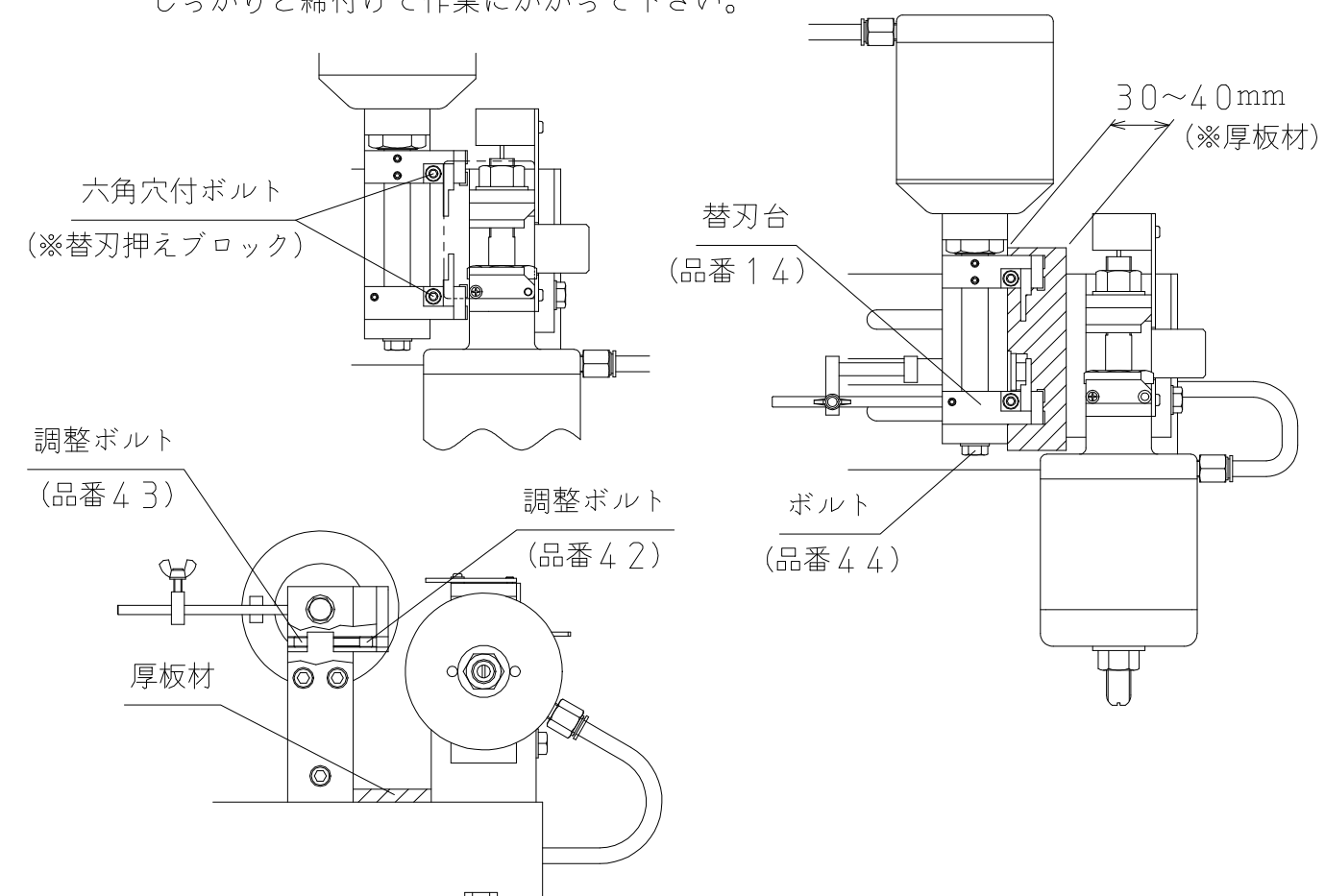
線材をあまりきつくツカミすぎ、外皮にキズがつく恐れのある場合の調整です。

- (1) ナット（品番 7 5）をゆるめて
ツカミ部調整ボルト（品番 3 3）を右に回して下さい。
- (2) 逆にすべる場合は、左に回して下さい。
- (3) 調整後は、ナット（品番 7 5）を締め付けて下さい。

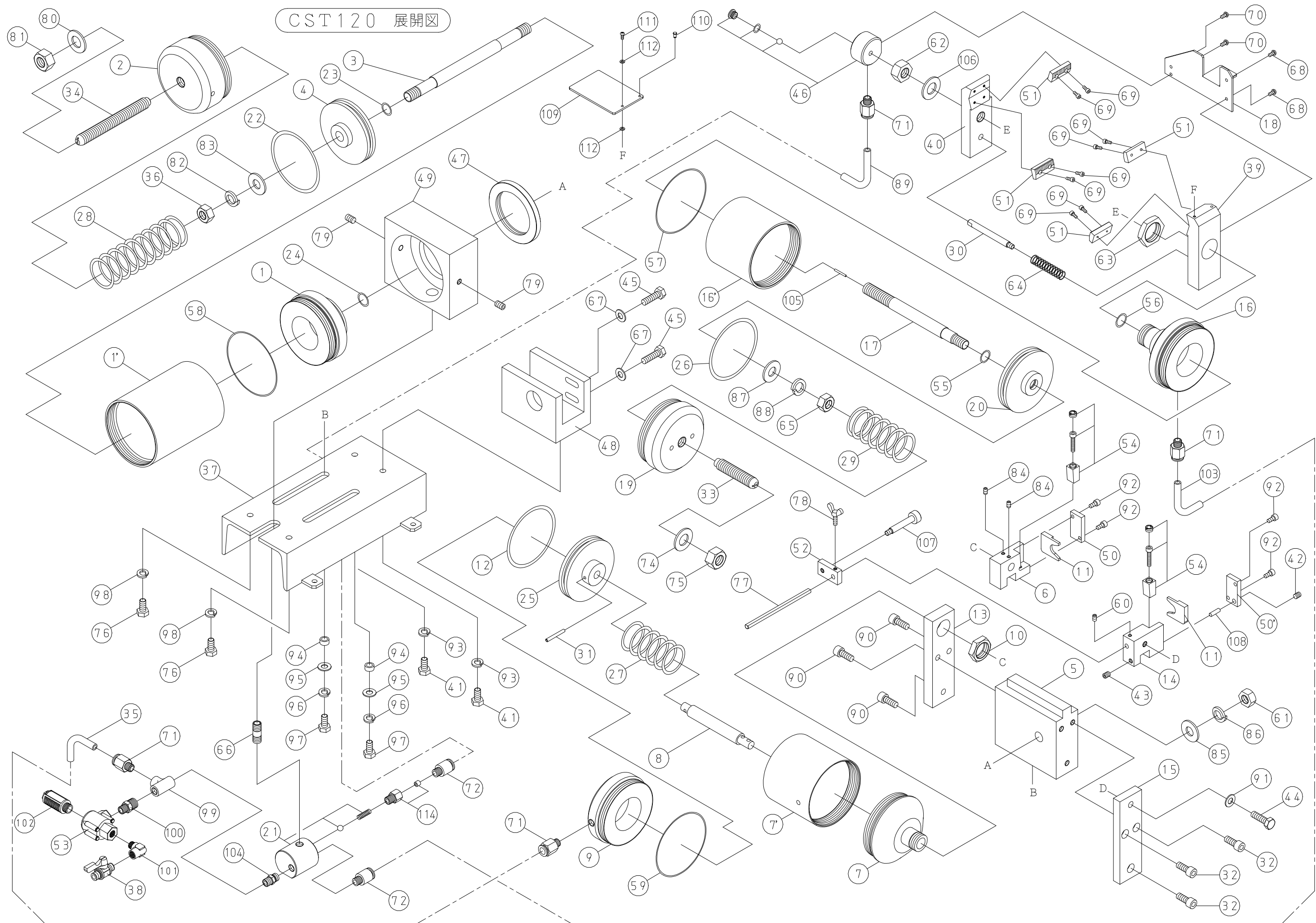


■替刃取付状態・交換方法

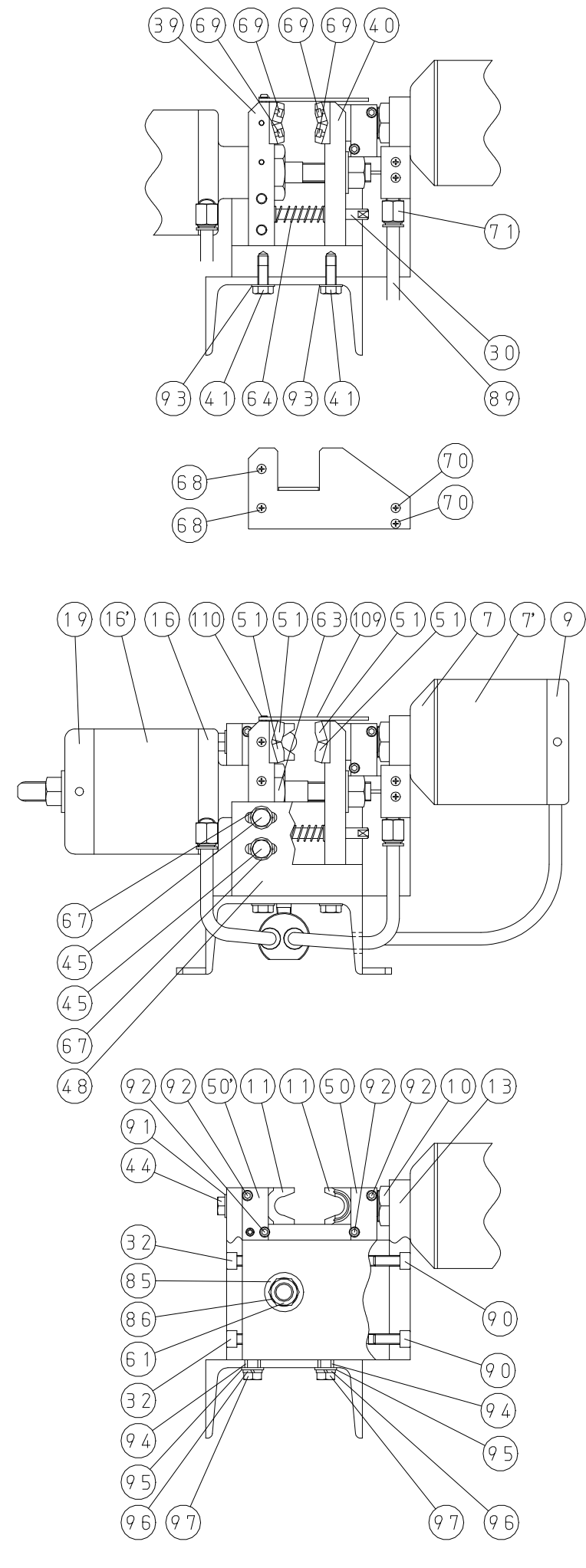
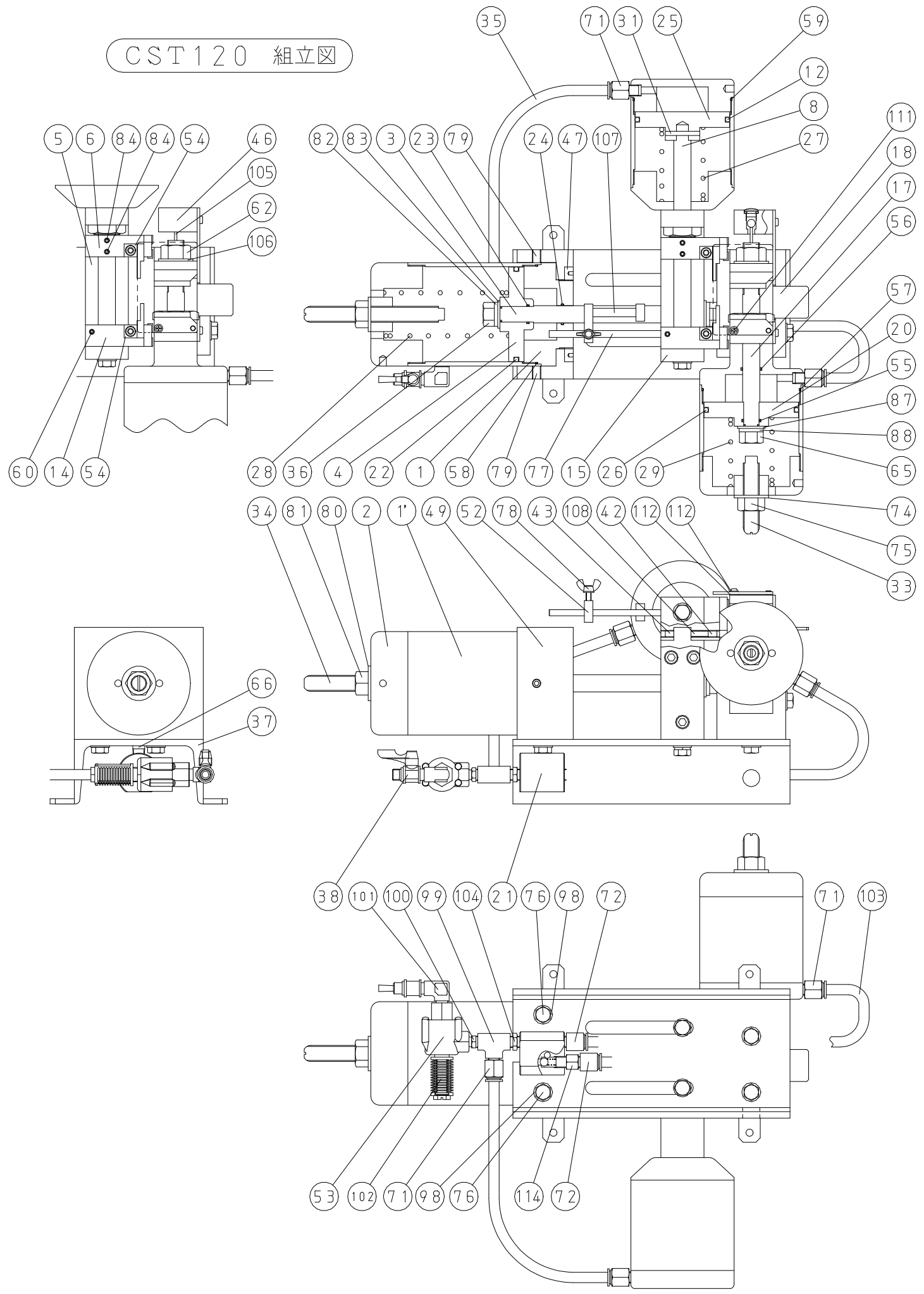
- (1) 替刃押えブロックの中にある六角穴付ボルト（止めネジの穴の中に入っている）を
六角レンチで左へ回して緩めて下さい。
- (2) 取付ける場合、替刃の刻印がツカミ部側から見て正常に読み取れる方向に取付けて下さい。
- (3) 替刃押えブロックを六角レンチで右に回してしっかりと締付けて下さい。
- (4) エアーを通し、フットバルブを踏んで、2つの替刃のかみ合わせ状態を見て下さい。
- (5) 2つの替刃がうまくかみ合わない場合は、次のように調整して下さい。
 - a) 下図のようにフットバルブを踏んで、ツカミ部と替刃台の間（斜線部）に
30～40mmの厚板材（約10mm）を入れて、フットバルブから足をはなして
ストップバルブを閉じエアーを遮断して下さい。
 - b) ボルト（品番 4 4）を緩めて下さい。
 - c) 替刃台（品番 1 4）を左右に動かすことができます。
 - d) 替刃台（品番 1 4）を左方向に移動させる場合は、六角レンチで
調整ボルト（品番 4 3）を左に回し、調整ボルト（品番 4 2）を右に回して下さい。
反対に移動させる場合は、逆にして下さい。
 - e) エアーを通し、フットバルブを踏んでかみ合わせを見て良好であれば
調整ボルト（品番 4 2）、調整ボルト（品番 4 3）、ボルト（品番 4 4）を
しっかりと締め付けて作業にかかって下さい。



CST120 展開図

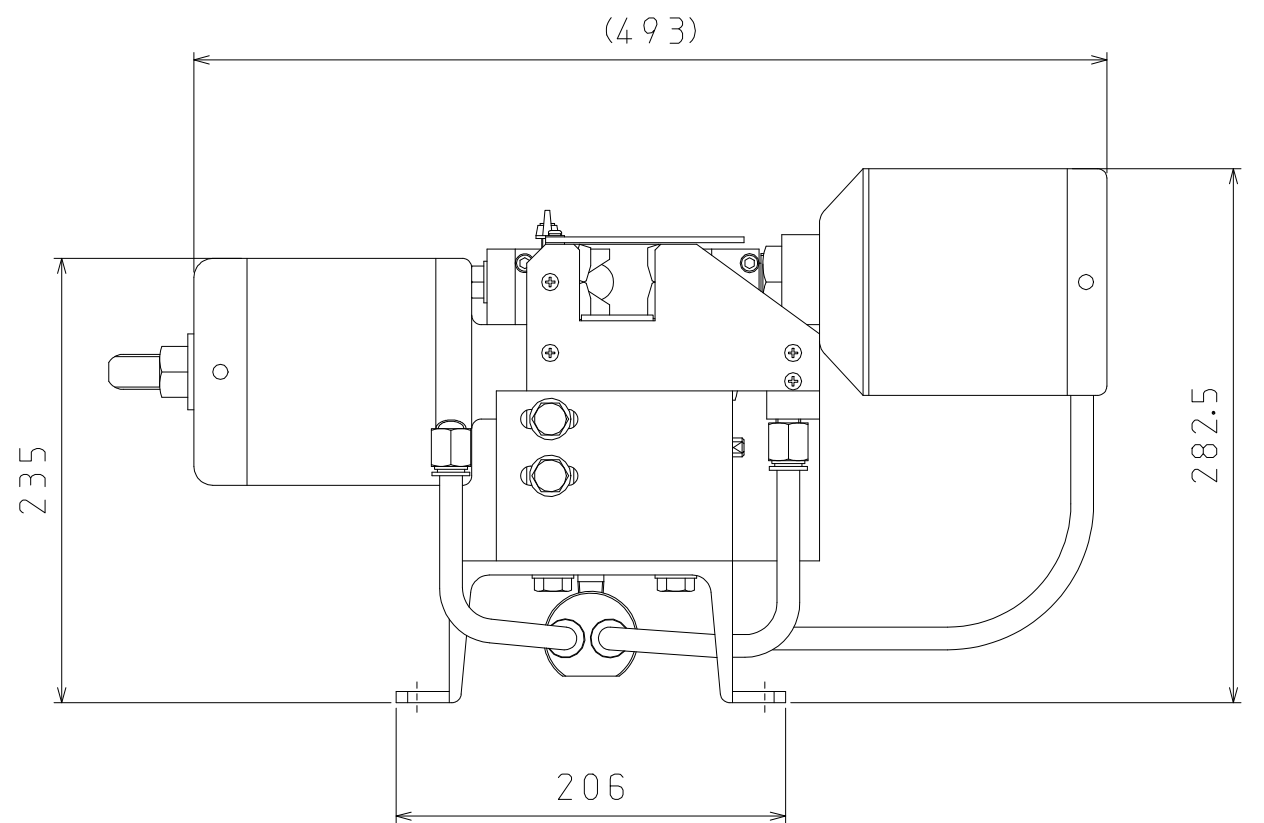
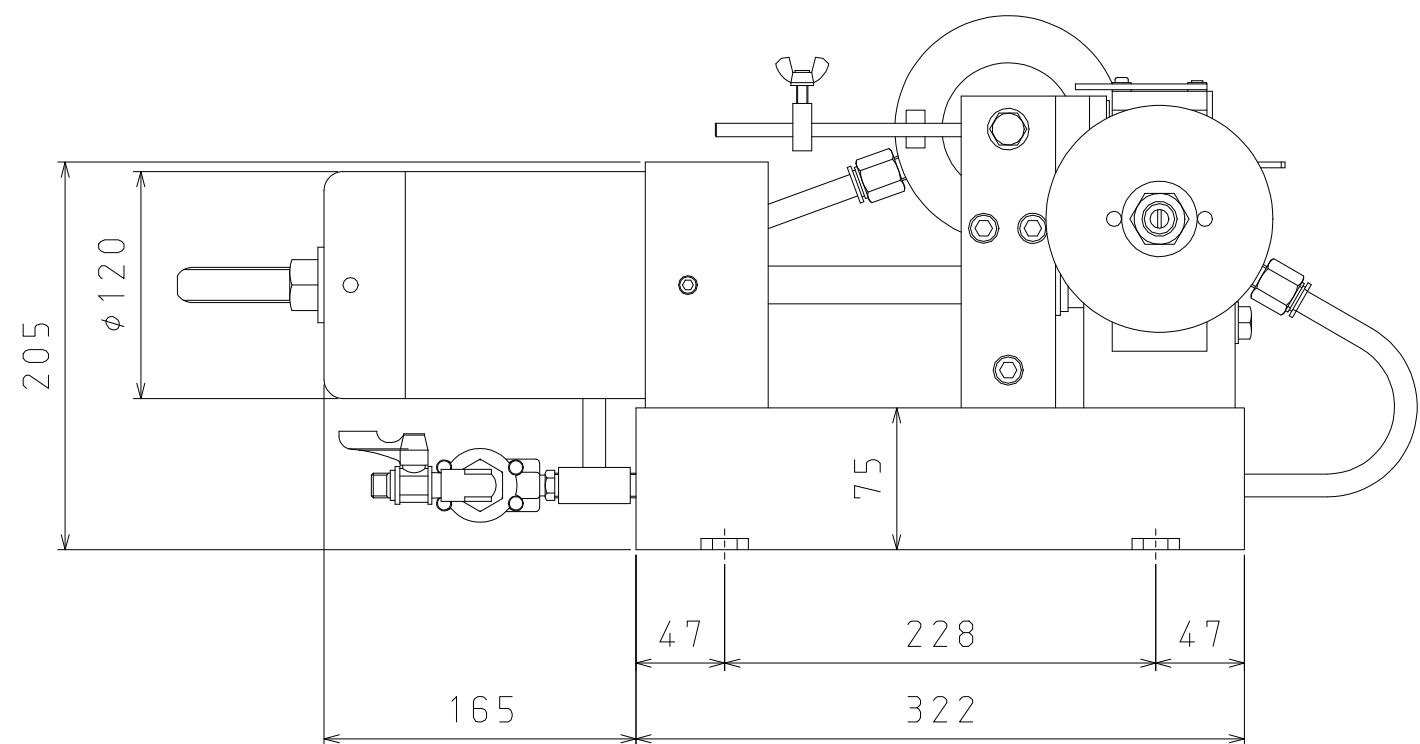
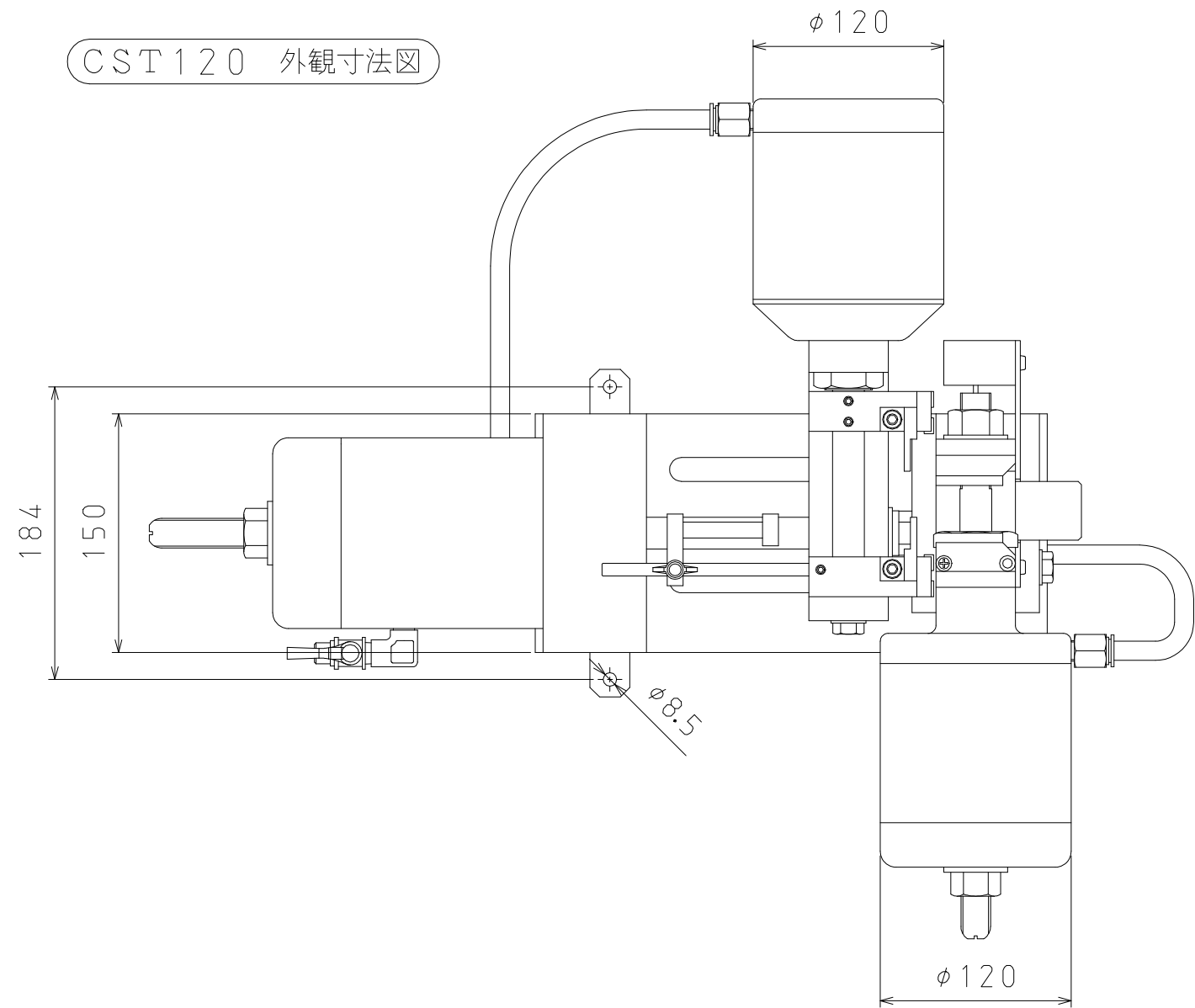


CST120 組立図



品 番	品 名	品 番	品 名
1~1'	シリンダー 1	56	リング
2	キャップ 1	57	リング
3	ピストンロッド 1	58	リング
4	ピストン 1	59	リング
5	台	60	アタリ固定ネジ
6	替刃台 1	61	ナット 3
7~7'	シリンダー 2	62	ナット 4
8	ピストンロッド 2	63	ナット 5
9	キャップ 2	64	戻しバネ 4
10	ナット 2	65	ナット 6
11	替刃	66	パイプニップル
12	リング	67	平ワッシャ
13	支え板 1	68	ナベ小ネジ
14	替刃台 2	69	キャップボルト
15	支え板 2	70	ナベ小ネジ
16~16'	シリンダー 3	71	ホース用ニップル
17	ピストンロッド 3	72	ホース用ニップル
18	あて板	73	
19	キャップ 3	74	平ワッシャ
20	ピストン 3	75	ナット
21	チェック弁 1 (バネ・ボール)	76	ボルト
22	リング	77	アタリ用ロットピン
23	リング	78	蝶ネジ
24	リング	79	セットボルト
25	ピストン 2	80	平ワッシャ
26	リング	81	ナット
27	戻しバネ 2	82	スプリングワッシャ
28	戻しバネ 1	83	平ワッシャ
29	戻しバネ 3	84	セットボルト
30	ロットピン	85	平ワッシャ
31	スプリングピン	86	スプリングワッシャ
32	キャップボルト	87	平ワッシャ
33	ツカミ部調整ボルト	88	スプリングワッシャ
34	ストローク調整ボルト	89	ホース
35	ホース	90	キャップボルト
36	ナット 1	91	平ワッシャ
37	ベース	92	キャップボルト
38	エースボールニップル	93	スプリングワッシャ
39	ツカミ部 1	94	カラー
40	ツカミ部 2	95	平ワッシャ
41	ボルト	96	スプリングワッシャ
42	セットボルト	97	ボルト
43	セットボルト	98	スプリングワッシャ
44	ボルト	99	チーズ
45	ボルト	100	ニップル
46	チェック弁 2 (止めネジ・ボール・リング)	101	エルボニップル
47	シリンダー取付ナット	102	サイレンサー
48	ツカミ部支え台	103	ホース
49	シリンダー台	104	ニップル
50	替刃押え板 1	105	ピン
50'	替刃押え板 2	106	平ワッシャ
51	スベリ止め板	107	線材アタリ
52	アタリ	108	ピン
53	強制排気弁	109	安全カバー
54	替刃押えブロック (止めネジ・ボルト)	110	ピン
55	リング	111	ナベ小ネジ
		112	平ワッシャ
		113	
		114	内外ソケット (プッシュ付)

CST 120 外觀寸法図





 室本鉄工株式会社

●お問い合わせ先

大阪オフィス TEL 072-850-0091 (代)

FAX 072-850-0082

ホームページ <http://www.muromoto.co.jp>
E-mail: mrt.info-j@muromoto.co.jp